

公社等外郭団体に関する情報公開

団体名	公益財団法人 ちば国際コンベンションビューロー	県所管課	商工労働部経済政策課
代表者	代表理事 高柳 哲男	電 話	043-223-2733
所在地	千葉県美浜区中瀬2-6 WBGマリブイースト14階		
電 話	043(297)4301		
設立年月日	平成元年6月1日(平成13年4月1日(財)千葉県国際交流協会と統合)		
ホームページ アドレス	http://www.ccb.or.jp		
事業内容	本財団は、千葉県の有する歴史、文化、経済その他の地域的特性を生かし、千葉県で開催される会議、報奨・研修旅行、国際会議及びイベント事業等(MICE)を推進するとともに、国際交流等の促進を図り、もって地域経済の活性化及び文化の向上並びに国際相互理解の増進に資することを目的に事業を実施している。		

1 出資等の状況(H27.4.1現在)

(単位:千円,位)

資本金(又は出捐金)	2,135,050
------------	-----------

出資(出捐)者	出資(出捐)額	出資(出捐)割合	出資(出捐)順位	備考
千葉県	1,300,000	60.9%	1	
千葉市	200,000	9.4%	2	
船橋市	25,000	1.2%	3	
浦安市	25,000	1.2%	3	
成田市	21,000	1.0%	5	
習志野市	15,000	0.7%	6	
(株)幕張メッセ	10,000	0.5%	7	
(株)オリエンタルランド	10,000	0.5%	7	
鴨川市	9,000	0.4%	9	
銚子市ほか244者	520,050	24.4%		

2 社員(会員)の状況(社団法人のみ)(H27.4.1現在)

社員総数	
------	--

区 分		社員数	主な者
内 訳	地方公共 団体	県	
		市町村	
	国又は政府系機関		
	民間法人		
	その他		

3 財務状況

(1)貸借対照表から

(単位:千円)

項 目	24年度	25年度	26年度
総資産	2,338,920	2,350,162	2,348,770
負債	77,208	80,158	84,483
(うち有利子負債)	0	0	0
純資産	2,261,712	2,270,004	2,264,287
累積損益(利益剰余金)	126,662	134,954	129,237

(2)損益計算書から

(単位:千円)

項 目	24年度	25年度	26年度
総収入 (＝売上高＋営業外収益＋特別利益)	186,562	192,947	225,338
経常損益	8,847	8,588	△ 5,717
当期損益	8,847	8,292	△ 5,717
減価償却前当期損益	8,948	8,361	△ 5,704

4 年度末借入金残高等の状況

(単位:千円)

項 目	24年度	25年度	26年度
借入金残高	40,000	40,000	40,000
うち県からの借入金残高	40,000	40,000	40,000
うち県以外からの借入金残高			
うち県の債務保証又は損失補償の対象となる借入金残高			

※一般社団・財団法人及び公益社団・財団法人(特例法人(従来の公益法人)含む。)については、次のとおり公益法人会計基準に読み替える。

〈貸借対照表〉 純資産⇒正味財産合計

利益剰余金⇒一般正味財産

〈損益計算書〉 損益計算書⇒正味財産増減計算書

総収入(＝売上高＋営業外収益＋特別利益)⇒総収入(＝経常収益＋経常外収益＋当期指定正味財産増加額)

経常損益⇒当期経常増減額

当期損益⇒当期一般正味財産増減額

※累積損益(利益剰余金)については、基本金又は基本財産に相当するものを除いたものとなる。

5 県の財政支出の状況

(1) 委託料・補助金等

(単位:千円)

項目	目的、内容、算出根拠等	24年度	25年度	26年度
委託料	フィルムコミッション事業、外国人テレホン相談事業	15,487	22,650	25,677
補助金・交付金・負担金	コンベンションの振興、国際化及び国際交流の推進を図ることを目的に補助	82,376	84,247	117,621
合計		97,863	106,897	143,298

(2) その他

(単位:千円)

項目	目的、内容、算出根拠等	24年度	25年度	26年度
利子補給				
税の減免額				
出資金				
貸付金				
上記以外のもの				
合計		0	0	0

(3) 委託料のうち再委託に関するもの

(単位:千円)

項目	目的、内容、算出根拠等	24年度	25年度	26年度
委託料のうち再委託したもの	サーバ保守管理、フィルムツーリズム推進業務	2,664	2,664	4,077
再委託のうち入札によるもの		0	0	0
再委託のうち随意契約によるもの	サーバ保守管理、フィルムツーリズム推進業務	2,664	2,664	4,077

6 役職員の状況

(1) 役職員数(各年度7月1日現在)

(単位:人)

項目	25年度	26年度	27年度
常勤役員数	2	2	2
うち県退職者	2	2	2
うち県派遣職員	0	0	0
常勤職員数	14	19	20
うち県退職者	1	1	2
うち県派遣職員	2	2	2

(2) 役職員の平均年収等の状況

項目	25年度	26年度	27年度
役員数(県派遣又は県OB)	2人(2人)	2人(2人)	2人(2人)
役員平均年齢	63.75歳	64.5歳	65.5歳
平均年収(千円)	6,981千円	7,654千円	7,695千円
職員数(県派遣又は県OB)	13.58人(3人)	19人(3人)	18.83人(3.8人)
職員平均年齢	44.64歳	45歳	47.65歳
平均年収(千円)	4,543千円	5,421千円	5,397千円

- ① 対象は常勤の役職員です。(嘱託職員、日々雇用職員は除く。)
- ② 役職員数は実人員を記入してください。
- ③ 平均年収は、役員報酬や給料等総人件費を実人員で除して算出すること。

※実人員の考え方

- ・4月に役員が4人いて、年度途中で2人交替し、年度末に4人であった場合の実人員は4人
- ・4月に役員が5人いて、10月から1人減り、年度末に4人であった場合の実人員は4.5人

※平成27年度の平均年収については推計となる。

7 改革方針の取組状況

改革方針(区分)	経営改善
改革方針(概要)	<ul style="list-style-type: none"> ・事務合理化や自己財源の充実による経営改善に引き続き取り組むほか、MICE(マイス)部門と国際交流部門の効果的な連携に取り組むとともに、県内のコンベンション施設やホテル等とのネットワーク強化、アフターコンベンションの充実等により、地域経済における誘致効果を高める。 ・国際交流部門については、ボランティアの育成や交流団体のネットワーク化等、多文化共生時代の要請に適切に対応していく。 ・コンベンション施設、ホテル、市町村国際交流協会等の関係機関と連携し、専門性の高いスタッフの人材養成や体制の強化を図る。 ・第3次中期計画(H22～24)の期間中を目途に、公益法人への移行と自立型経営への転換を図る。
取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・紙媒体での機関紙の発行をウェブサイトやメールでのMICE情報の配信に切り替える等、業務の合理化を行ったほか、賛助会員の獲得や基本財産運用による自主財源確保に努めている。 ・国際交流部門で登録している語学ボランティアに、国際会議の参加者の案内をしてもらおう等、財団が一体となったMICE支援を行っている。また、知事からの招聘状の発出や国際会議開催経費の補助、展示会への共同出展等、県、関係市、大学及び関係機関と連携した誘致活動を実施している。 ・専門性のあるスタッフを充実させ、誘致体制を強化した。 ・多文化共生時代の要請に適切に対応し、かつ、専門性のある人材育成を図るため、国際交流ボランティア制度の運営、ボランティア育成のための講座等の実施、様々な主体との意見交換等を通じたネットワークの形成に取り組んでいる。 ・公益法人への移行については、平成25年4月1日に実施した。
その他(特記事項等)	

* 平成24年3月に千葉県行政改革推進本部で決定した改革方針とその取組状況を記載してください。